



## アルミフリークレーン

### 取扱説明書

本書は、アルミフリークレーンの基本的なご使用方法、組立、並びに施工について説明しております。

- \*1. ご使用前に必ずよくお読みになり正しくお使い下さい。  
警告表示や注意事項を守らないで不適切な取扱をすると事故の原因となる事があります。
- \*2. お読みになった後は、取扱説明書を大切に保管して下さい。

#### お願い

本書は、品質改良のために変更があった場合、内容が一部変更することがありますので、ご了承下さい。

## 目 次

1. 安全に関する注意事項
2. アルミフリークレーン確認事項
3. 保証
4. 構成部品
5. 基本的な設置構想について
6. 組立要領
7. 保守点検

株式会社 スーパーツール 開発課  
堺市中区見野山 158  
Tel 072-236-5521  
Fax 072-235-4531

## 1 安全に関する注意事項

アルミフリークレーンを不適切な使用、又は本来と異なる目的に使用されると危険にさらされる場合があります。本クレーンが本来と異なる目的に使用された場合、賠償責任及び保証に関するクレーム等は、適用されません。本来の使用目的とは、取扱説明書に従い、設置・運転・メンテナンス等の取扱方法に準拠しているものとします。安全性・運転・メンテナンス等に関してご不明な点は、弊社営業・技術までご相談願います。

- ① 運転要員・メンテナンス要員は、アルミフリークレーンに関する全ての取扱説明書を読み、熟知している必要があります。
- ② 全ての危険・警告・注意等、安全予防上の注意を十分に熟知し作業を行って下さい。
- ③ **取扱説明書に記載されている操作方法を熟知して操作して下さい。**
- ④ 運転者及び装置全体の安全性に影響を及ぼすような使い方はしないで下さい。
- ⑤ 未承認の改造・修正・変更はしないで下さい。
- ⑥ 外観・仕様は改善の為、予告なく変更する場合がありますのでご了承願います。
- ⑦ 吊荷の下には危険ですので立ち入らないで下さい。
- ⑧ アルミフリークレーンを使用する場合は操作者、合図者の2人作業で行って下さい。
- ⑨ 容量以上には使用しないで下さい。(容量は、治具を含みます。)
- ⑩ 作業時にはヘルメットをして下さい。
- ⑪ 吊荷を無闇に揺らしたりしないで下さい。

### 警告表示の意味

◇危険：取扱を誤った場合、危険な状態が起りえて、死亡又は重傷を受ける可能性が想定される場合。

△警告：取扱を誤った場合、使用者が死亡又は重傷を負う可能性が想定される場合。

△注意：取扱を誤った場合、危険な状態が起りえて、中程度の障害や軽傷を受ける可能性が想定される場合及び、物的障害のみの発生が想定される場合。

なお、△注意 に記載した事項でも状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。

## クレーンに関する諸規則

- ① 500 kg 以上のクレーン設置には、ユーザー様から設置場所所管の労働基準監督署への「クレーン設置報告書」の提出が必要となります。
- ② クレーンの操作をするためには、次の資格が必要となっています。

			吊り上げ荷重				
			0.5t 未満	0.5t 以上 1t 未満	1t 以上 3t 未満	3t 以上 5t 未満	5t 以上
項目	クレーン 運転者 の 資格	同行 操作	適用除外 ( <a href="#">クレーン則第 2 条</a> )	クレーンの運転の業務に係る特別の教育 ( <a href="#">クレーン則第 21 条</a> )			技能講習
		遠隔 操作					クレーン 運転士免許 ( <a href="#">クレーン則第 22 条</a> )
	玉掛け 作業 者の 資格		玉掛けの業務に 係る特別の教育 ( <a href="#">クレーン則第 222 条</a> )	玉掛技能講習 ( <a href="#">クレーン則第 221 条</a> )			

## 2. アルミフリークレーン確認事項

### ◇危険

#### 1.設置される前に

- (1) アルミフリークレーンの使用容量はアルミフリークレーンにかかる全荷重です。  
容量以上は、絶対に吊らないで下さい。  
使用容量=巻上装置重量+吊具の重量+吊荷重量
- (2) 建屋梁は使用容量+走行レール重量に耐えるかどうか、確認をして下さい。
- (3) 壁面に沿って走行レールを設置する場合は、横行レールが壁に当たらない様にして下さい。  
又、その際巻き上げ物が建屋・柱等に当たらない様に設置して下さい。
- (4) 横行レールの移動範囲内に、照明その他の吊り下げ物がないかどうか、確認してください。
- (5) 設置するレールは走行支持サスペンションより横行、走行レール共にそれぞれ片側  
250mm ずつ長くして下さい。

#### 2.設置後の確認

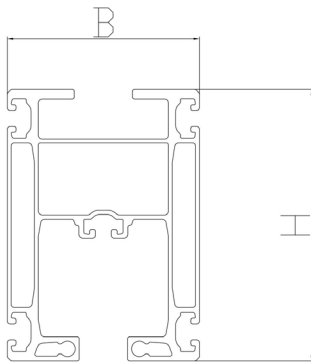
- (1) 取り付け施工が終われば、ボルト・ナットに緩みがないか、再度確認して下さい。  
又、作業終了後、マーキング表示をして下さい。
- (2) ご使用に当たり、ボルト・ナット・継手箇所は、使用頻度によって異なりますが、  
緩んでくる可能性がありますので、緩みが確認できる様に、マーキングを実施し、日常点検等  
でマーキングのズレが無いチェックをお願いします。
- (3) 改造はしないで下さい。万一の場合、賠償責任保険の対象外となります。

## 3. 保証

1. 保証については下記の項目を満足する事により本体納入後、1ケ年と致します。  
日本国内のみとします。  
納入後、1年以内に弊社設計・製作上のミスにより発生した不具合は、速やかに無償にて修理又  
は交換致します。
  - ・日常点検、定期点検を必ず行うこと。
  - ・正しい使い方を必ず行うこと。
  - ・異常が発見された場合には速やかに修理を行うこと。
2. 上記故障による稼働費用の補償はしません。

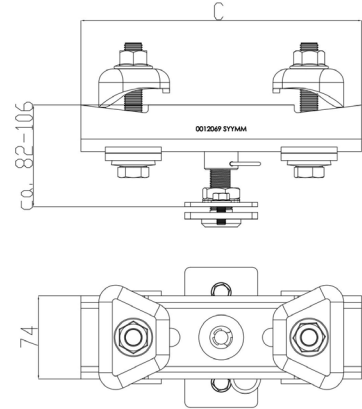
#### 4. 構成部品

各横行、走行レール



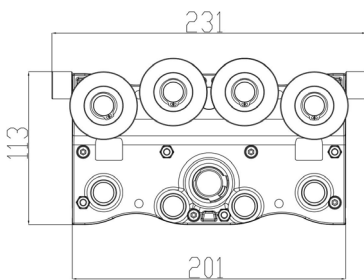
レールサイズ	B(mm)	H(mm)
XS	72	100
S	96	105
M	99	140
L	100	180
XL	100	220

走行支持サスペンション

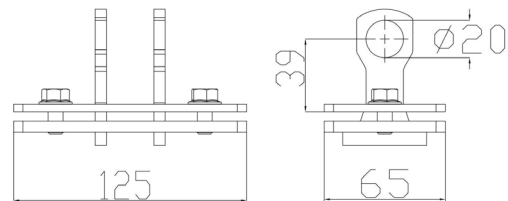


品名	適用梁巾 A(mm)	C(mm)
サスペンション 可動式 50-150	50-150	250
サスペンション 可動式 150-250	150-250	350
サスペンション 可動式 250-310	250-300	410

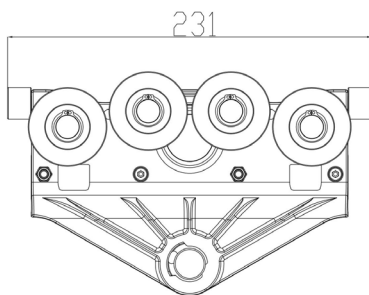
ヒンジトロリ



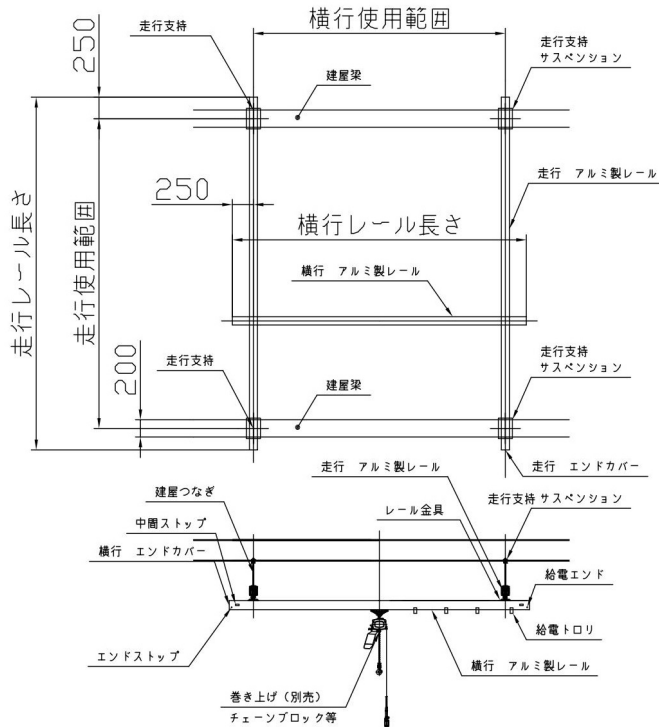
レール金具



プレートトロリ



## 5. 基本的な設置構想について



### 取付金具

品名	用途
エンドカバー	走行レール、横行レールの両端に1つずつ使用
エンドストップ	走行レール、横行レールの両端に1つずつ使用
中間ストップ	走行レール、横行レールの両端に1つずつ使用
給電トロリ	走行及び横行の長さ1mに1つ使用
給電エンド	走行レール、横行レールの給電トロリ側に1つ使用

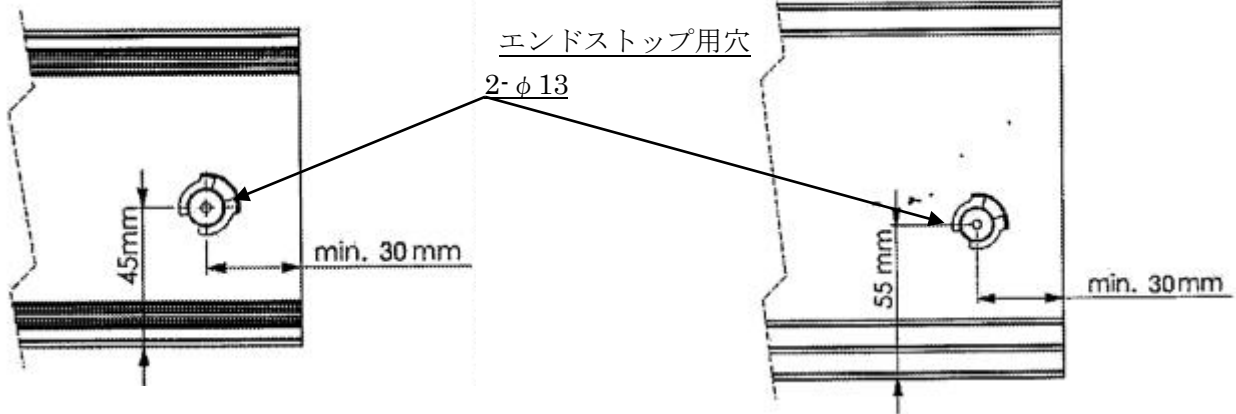
基本的な設置構想について下記の点にご注意下さい。

### ⚠危険

- 1) 建屋梁が使用容量+レール重量に耐えられるかどうかを、確認して下さい。
- 2) 壁面に沿って走行レールを設置する場合は、横行レールが壁に当たらないようにして下さい。また、その際巻き上げ物が建てた・柱等に当たらないように設置して下さい。
- 3) 横行レールの移動範囲内に、照明その他吊り下げ物が無いかどうか、確認して下さい。
- 4) 設置するレールは、作業範囲より横行・走行レール共それぞれ150mm ずつ長くして下さい。又、オーバーハングさせる場合は、どちらか片側を500mm まで長くする事が出来ます。

## 6. 組立要領（2人以上で組立てる）

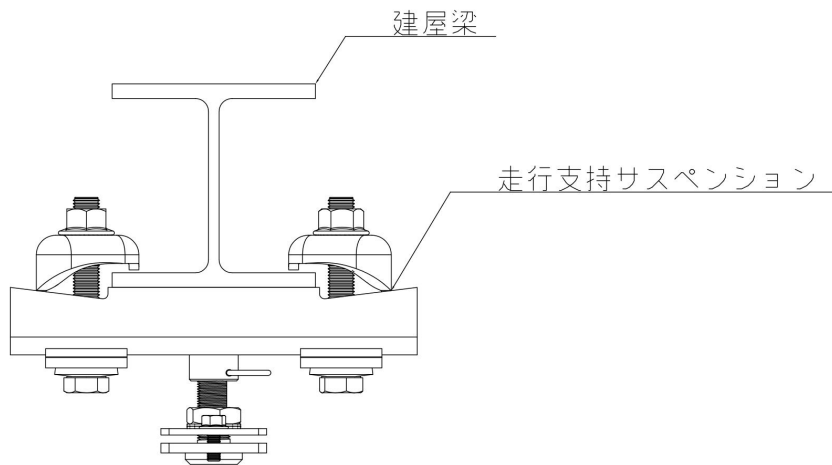
- 1) レールには前もって下記加工を行って下さい。



レールサイズ XS の場合

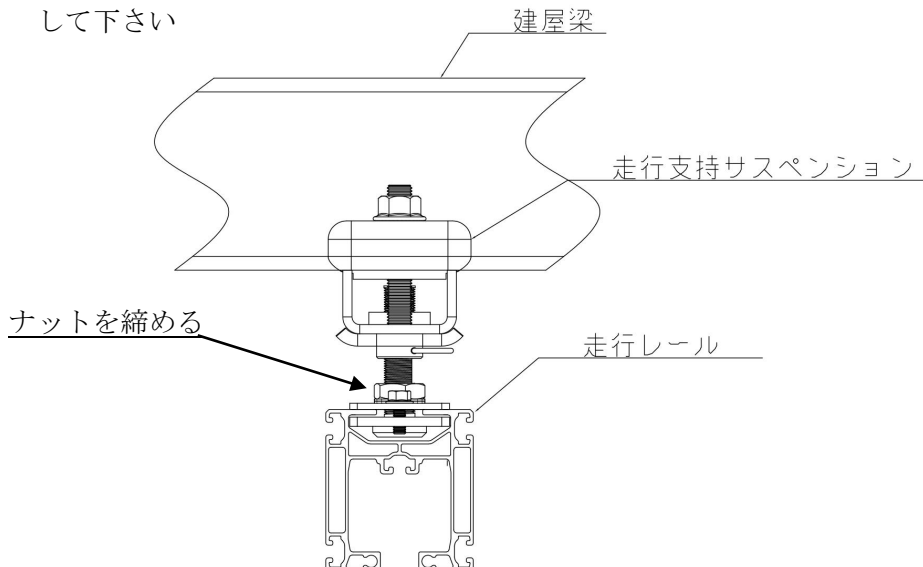
レールサイズ S 以上の場合

- 2) 建屋梁に走行支持サスペンションを固定して下さい。



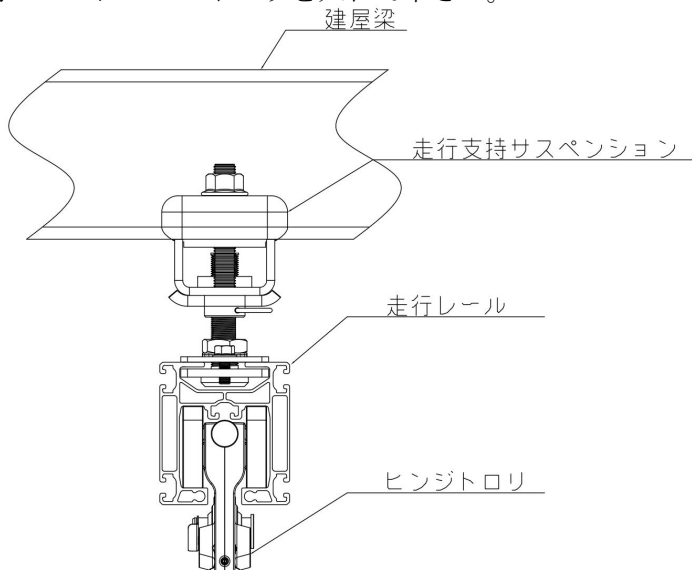
- 3) 走行支持サスペンションと走行レール図のように固定して下さい。

この時走行レールは、走行支持サスペンションよりそれぞれ片側 250mm 長くして固定して下さい。  
又、走行支持サスペンションのナットを締めて、走行レールがぐらつかないようにして下さい

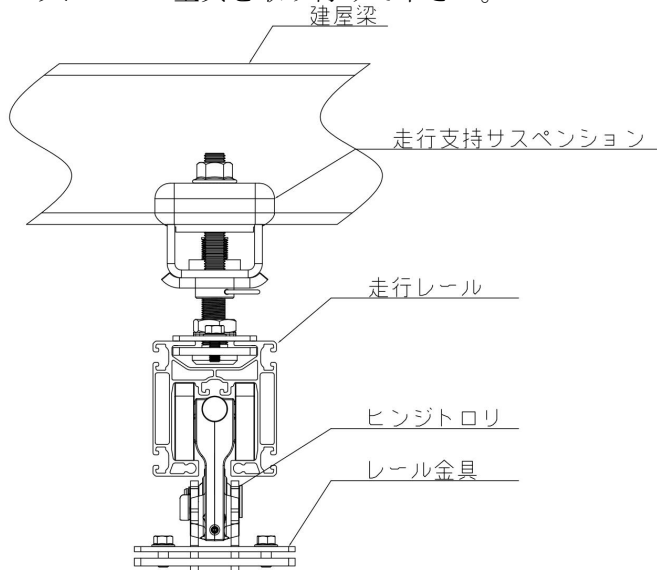




- 4) 走行レールにヒンジトロリを入れて下さい。



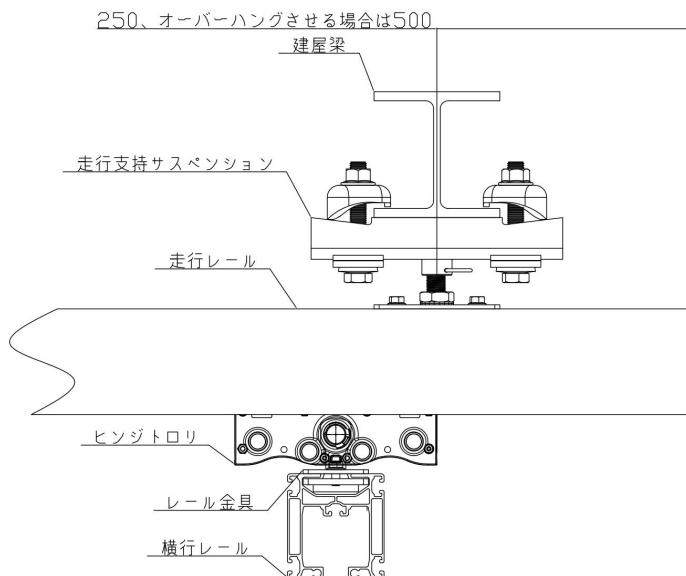
- 5) ヒンジトロリにレール金具を取り付けて下さい。



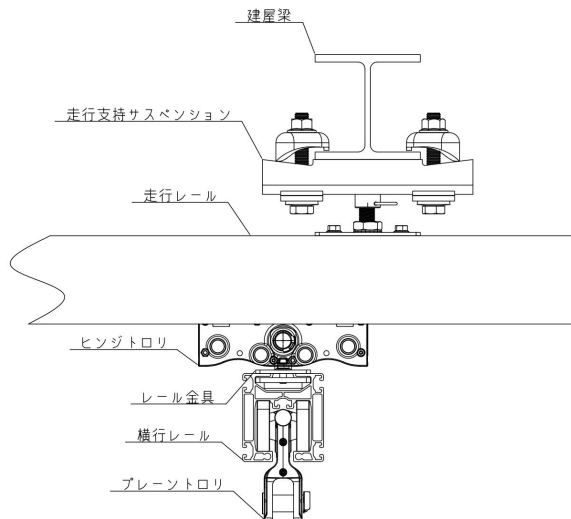
- 6) レール金具と横行レールを固定して下さい。

この時、横行レールはレール金具よりそれぞれ片側 250mm 長くして下さい。

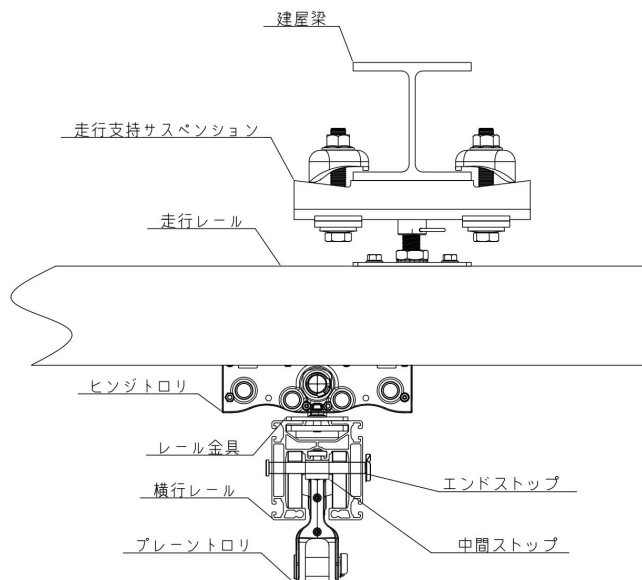
又、オーバーハングさせる場合は、どちらか片側を 500mm まで長くすることが出来ます。



7) 横行レールにプレートロリを入れて下さい。



8) 横行レールに中間エンド、エンドストップ、エンドカバーを取り付けて下さい。



9) 以上の組立が終了しましたら、作業は荷内を動かしてスムーズに動くか、横行レール、プレートロリが流れないか、確認して下さい。

10) 電気チェーンブロックを使用する場合は、走行、横行レールに給電トロリ、給電エンドを取り付けて下さい。

#### ⚠危険

11) 確認が終われば、ボルト・ナットに緩みがないか、再度確認して下さい。  
マーキング等で緩みが確認できる様にして下さい。

12) レール落下防止装置

下記の写真の様に、走行レール・横行レールに、落下防止装置の取付を行って下さい。



走行レール側



横行レール側

以上でアルミフリークレーンの組立は完了です。

## 7. 保守点検

### 1) 日常点検(毎日点検)

- ① 作業前に必ず、横行レール、プレーントロリが流れないか確認点検を行って下さい。
- ② 使用に際して異音が発生したり、異常が発生したり、異常がないか確認して下さい。
- ③ 全体に異常がないか  
例えば ボルトは外れている  
レール設置部が外れている。等

### 2) 年次点検(年 1 回以上は行って下さい。)

- ① 走行支持サスペンションが建屋梁乗っており。ボルトが緩んでないか。
- ② 走行支持サスペンションと走行レールと繋いでいるボルトが緩んでないか。
- ③ 走行、横行レールにダメージ、変形がないか。
- ④ 走行、横行レールのトロリ走行面の汚れ、摩耗の確認。
- ⑤ 取付金具に変形がないか。
- ⑥ トロリの車輪に変形がないか。



ホームページ <http://www.supertool.co.jp/>

- 本社・工場 〒599-8243 大阪府堺市中区見野山 158 番地 TEL 072-236-5521(代) FAX.072-236-5785
- 大阪支店 〒599-8243 大阪府堺市中区見野山 158 番地 TEL 072-236-5526(代) FAX.072-236-3817
- 東京支店 〒142-0041 東京都品川区戸越 3 丁目 4-18 TEL 03-5750-2341(代) FAX.03-5750-2347  
ゴールドステージビル 4F
- 名古屋支店 〒460-0026 名古屋市中区伊勢山 1 丁目 2-4 TEL 052-323-0701(代) FAX.052-323-0720
- 札幌 〒003-0029 札幌市白石区平和通 3 丁目北 4-20 TEL 011-864-3581(代)  
FAX.011-864-3590
- 仙台 〒984-0031 仙台市若林区沖野 2 丁目 8-5 TEL 022-294-1922(代)  
FAX.022-285-1513
- 新潟 〒950-0855 新潟市東区江南 2 丁目 6-2 TEL 025-287-5353(代)  
FAX.025-287-6003
- 北関東 〒337-0004 さいたま市見沼区卸町 2-6-8 TEL 027-352-7140(代) FAX.027-352-7142
- 広島 〒733-0012 広島市西区中広町 2-14-27 TEL 082-293-5570(代)  
FAX.082-293-5531
- 福岡 〒812-0016 福岡市博多区博多駅南 3-10-23 TEL 092-431-1897(代)  
FAX.092-431-1909